



人口減少歯止め施策は最優先課題

遠藤 宏司 議員

町民の暮らしを豊かにしたい
町長

町の人口問題研究所は人口の自然減と都市部に一層集中する見通しから、大石田町の人口は2015年の(7357人)を100%とした場合2045年には43・8%(3224人)まで減ると推計した。子育て支援の全県の実態を見て、町で出来る町民の負担軽減対策はないか。

町長 町民の所得を多くし、豊かな生活を送っていただきたいと考える。しかしながら、町の財政事情から思うような財政出動ができない実情である。将来的に財源確保など十分な基盤が醸成されれば、町民負担の軽減に取り組みたい。



目に見える少子化に対策を！ (にじっこひろば)

重すぎる国保税

議会報告会並びに地域住民との対話集会で、「国民健康保険税がやけに高い」という声があった。平成28年度には県内で一番高かったが、平成30年度の町民一人当たりの確定した国保税額は、県内の市町村の中で何番目か。

町長 第1期の納期に向けて算定中であり、確定に至らず他市町村との比較はできない。

どうする人口減対策

子育て支援は町の存亡に関わる緊急課題。県内各市町村の実態を把握しているか。

町長 今年の3月定例会以降に医療費の無料化を拡大しているのは、8市町村と認識している。給食費を全額無償としているのは鮭川村のみで、尾花沢市、西川町で半額助成、寒河江市、南陽市、大江町、長井市、白鷹町などで一部助成しているようだ。



おいしい給食はここでつくられています。(給食センター)



本気で解決する気があるのか

小玉 勇 議員

審議会の意見や先進地を参考にする
町長



空き家が廃屋になってしまった。

空き家問題

初めての「空き家対策審議会」でどんな話があったのか。

町長 委員に空き家の実態を報告し、特定空き家(危険空き家)の対応について協議してもらった。

委員の意見は、
町長 倒壊した建物は分別に時間がかかり費用が高くなること、相統放棄のため空き家問題が解決しない要因等の意見があった。

審議会はどう進んでいくのか。

町長 現地を視察し個々を見てもらい、一歩進んだ対策を検討していく。予算に安全確保や撤去費用がないが。

町長 隣接する住民の安全や景観保全のため対応していくことには変わりはない。必要なものには予算を計上していく。

町は知らんぷりか。
町長 来迎寺の危険空き家について、区長を中心に地区の方々が防護ネットの更新など補修を自主的にしてくれたと聞いた。敬意を表し感謝したい。問題の解決方法を探しているのか。

女性議員を求め

市町村議会の2割35.2%、県内22町村中9議会で女性議員がゼロと

町長 難しい問題だが、県や関係機関、審議会の意見を聞き、先進事例を参考にして解決に向けていく。

沖繩のある議会では子育て中の女性議員のため育児室を設けたとあった。
町長 今後女性議員が多くなり必要となれば育児のための部屋を設けることは当然と考える。

女性議員比率が高い全国の市区町村議会

(2015年末時点。総務省などの調査を基に作成)

順位	議会	定数	女性議員数	比率(%)
1	神奈川県葉山町	14	7	50.00%
1	神奈川県大磯町	14	7	50.00%
1	大阪府島本町	14	7	50.00%
4	大阪府交野市	15	7	46.70%
5	東京都清瀬市	20	9	45.00%
6	愛知県東浦町	16	7	43.80%
6	滋賀県湖南市	16	7	43.80%
8	東京都目黒区	36	15	41.70%
8	東京都小金井市	24	10	41.70%
8	長野県飯島町	12	5	41.70%